

ご利用にあたってのお願い（新型コロナウイルス感染症予防対策）（2020.9.19）

「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため下記内容をご確認の上、ご協力をよろしくお願いいたします。
下記対応が整わない場合につきましては、ご利用開催中止又は延期をご検討ください。

- ① 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状があるなど体調の悪い方は入館をご遠慮ください。
- ② 適切な感染防止対策を行ってください。
 - ◆入・退館時のアルコール消毒薬の使用、こまめな手洗い消毒
 - ◆咳エチケット・マスク着用（入場・参加者、スタッフ等）〔マスク着用のない方は入館をご遠慮ください。〕
 - ◆大声での会話、又は近接した距離での会話等の自粛
 - ◆最低1mを目安に待機列（トイレも含む）や施設内の移動が対面とならないよう十分な間隔の確保
 - ◆利用時間内は、定期的に扉の開放等で室内の換気を行うこと（目安：1時間に1回）
扉を開放した状態でご利用して頂く場合があります。
 - ◆接触の可能性を知らせる QR コードのサービス（広島コロナお知らせ QR）や接触確認アプリ等の活用

《主催者さまへのお願い》

- ◆ホール収容人数については、別紙をご確認ください。
- ◆当日来館者全員（入場・参加者・スタッフ等）の体調チェックを行って頂き、上記感染症防止対策についても入場・参加者の方へ事前周知のうえ、掲示・アナウンス等行ってください。
- ◆三密（密閉・密集・密接）を回避するよう対応してください。
人と人との間隔は、最低1mを確保してください。
ホールのステージと観客席は飛沫感染防止のため適切な距離（最低2m）を空けてください。
スタッフを配置し、密集回避や場内での会話を控えて頂き大声での歓声・声援がない様、対応してください。
来場者と接触するような演出は行わないようにしてください。
ホール客席の扉は定期的に開放し、支障がない場合は利用中常時開放してください。
1日2回公演を実施する場合、最低1時間半程度の間隔を空けて消毒・換気等対策を行ってください。
舞台上・控室・親子室・ロビー・ホワイエ等待機スペースでも「密」にならないよう、出来るだけ扉は開放し、注意喚起を行ってください。
- ◆受付を行う場合は、ビニールカーテン等を設置し、トレーでの金銭受け渡しをしてください。
入退館時の誘導スタッフも配置し、混雑回避のための対応をしてください。
チケットはもぎらない又はマスク・手袋着用で行って頂き、チラシ等配布物の対策も行ってください。
- ◆接触の可能性を知らせる QR コードのサービス（広島コロナお知らせ QR）や接触確認アプリ等を活用する場合も事前に周知するようにして頂き、入場・参加者リストの情報は主催者様の責任において管理を行ってください。
- ◆ドアノブや手すり・テーブル・椅子等、定期的な消毒とご利用後の消毒もご協力ください。
- ◆当施設内において新型コロナウイルス感染症が発生した場合、当館の使用が出来なくなる場合がございます。その場合、既にお支払い頂いた施設利用料金は全額返金いたしますが、その他チケット払戻しや催し物に係る損失等についての責任は負いかねますので予めご了承ください。

イベント開催条件の改正(収容人数)について(2020年9月19日～2020年11月末)

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための広島県の対処方針」(2020.9.15改正)により当館でのイベント開催条件・感染防止対策をこの方針に従って行います。
皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【大声での歓声、声援などが想定されない場合】 ⇒ 収容率の上限 100%

※主催者さまで下記 ◆感染防止対策 を講じて頂くことが前提となります。

また、当館の感染拡大防止対策「ご利用にあたってのお願い」にもご協力ください。

音楽	クラシック音楽、歌劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲などのコンサート
演劇等	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンスなど
舞踊	バレエ、現代舞踊、民族舞踊など
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞など
芸能・演芸	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術など
講演・式典	各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベントなど

◆感染防止対策

消毒の徹底	出入口、トイレでの手指消毒、施設内のこまめな消毒、手洗いの励行
マスク着用の担保	マスクを持参していない人がいた場合、主催者側で配布
有症状者の出演、入場などの防止	検温の実施、入場お断りの際の料金払い戻し措置の規定など
参加者の把握	事前予約時又は入場時の参加者連絡先の把握、接触確認アプリや「広島コロナお知らせQR」の積極的活用
大声を出さないことの担保	大声を出す人がいた場合、個別に注意等ができる体制(スタッフの配置)
3密の回避	こまめな換気、入退場や休憩時間のロビー・トイレなどでの密集回避(時間差入退場、人員の配置、動線の確保など)
演者と観客間の接触・飛沫感染リスクの排除	演者と観客がイベント中・イベント前後や休憩時間などに接触しないよう確実な措置を講じる。舞台から観客まで一定の距離を確保(最低2m)
交通機関、イベント後の打ち上げなどにおける3密の回避	イベント前後の公共交通機関の混雑や、飲食店などでの密集を回避するよう、分散利用などについての注意喚起。

【大声での歓声、声援などが想定される場合】 ⇒ 収容率の上限 50%

※当館として、内容により制限を設けさせて頂く場合があります。

音楽	ロックコンサート、ポップコンサートなど
公演	キャラクターショーなど